

開講年度	2024 年度		
授業コード			
科目名称	「防災・防犯入門」		
副題			
担当教員	船木 伸江		
開講学期	前期	単位数	2
授業全体の内容の概要●	21 世紀の課題の 1 つは安全で安心な社会の構築にあります。阪神・淡路大震災や東日本大震災で学んだ教訓は、日常的な取り組みと助け合いの精神の大切さです。この教訓は安全で安心な暮らしを守る防災と防犯対策にとっても重要なキーワードです。自分と愛する人を守るためには何が必要なのかについて、自分のこととして考えます。市民救命士の資格の取得や生活安全確保のための防犯対策など、各界の人々のお話を含めた授業展開をしてきます。		
到達目標●	防犯や防災についての見識を備え、いざという時に行動できる。		
受講生の自主学習（授業前後）●	新聞等をよく読むなど最低 2 時間以上予習復習する。		
成績評価方法●	授業態度・授業への積極的貢献度（40%）、レポート（60%、提出 3 回）		
授業計画 （15 回分記入）	1.	ガイダンス 15 回の講義の進め方、成績評価の仕方などを説明する	
	2.	防災入門① 1995 年に神戸で発生した阪神・淡路大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ	
	3.	防災入門② 2011 年に東北で発生した東日本大震災を事例に災害の被害と防災のあり方について学ぶ	
	4.	防災入門③ 災害に備えるためには日ごろからどのようなことをしておけばいいのか、備えのあり方について学ぶ	
	5.	防災ワークショップ 防災教育教材を用いて災害の被害を体験しながら、防災についてワークショップ形式で学ぶ	
	6.	神戸地方気象台 気象と災害（学外特別講師）	
	7.	市民救命士講習Ⅰ 家族が倒れたり、町を歩いていて誰かが倒れていた際の応急手当の知識を学びます。正式な神戸市の市民救命士講習です。	
	8.	市民救命士講習Ⅱ 実際に倒れた人を救うために、胸骨圧迫や人工呼吸、AED の取扱方法などの的確な応急処置法を学びます（この講習を修	

		了することで神戸市消防局の修了証を取得できます)。(学外特別講師)
	9.	兵庫県神戸水上警察署 身近に迫る犯罪の防止 (学外特別講師)
	10.	兵庫県警本部 被害者支援の現状、取り組み (学外特別講師)
	11.	兵庫県神戸水上警察署 交通安全教育の参画 (学外特別講師)
	12.	消費者教育 消費者犯罪について (学外特別講師)
	13.	災害と被災者① 災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ
	14.	災害と被災者② 災害にあうということは、その後の生活にどのような影響を与えるのか、実際の被災者の声から学ぶ(阪神・淡路大震災の直接経験者から話を聞きます)(学外特別講師)
	15.	防災・防犯知識の活用 これまでの講義で学んだ防災・防犯の事例を生活に活かす方法を学ぶ
教科書		なし
参考書		随時紹介する